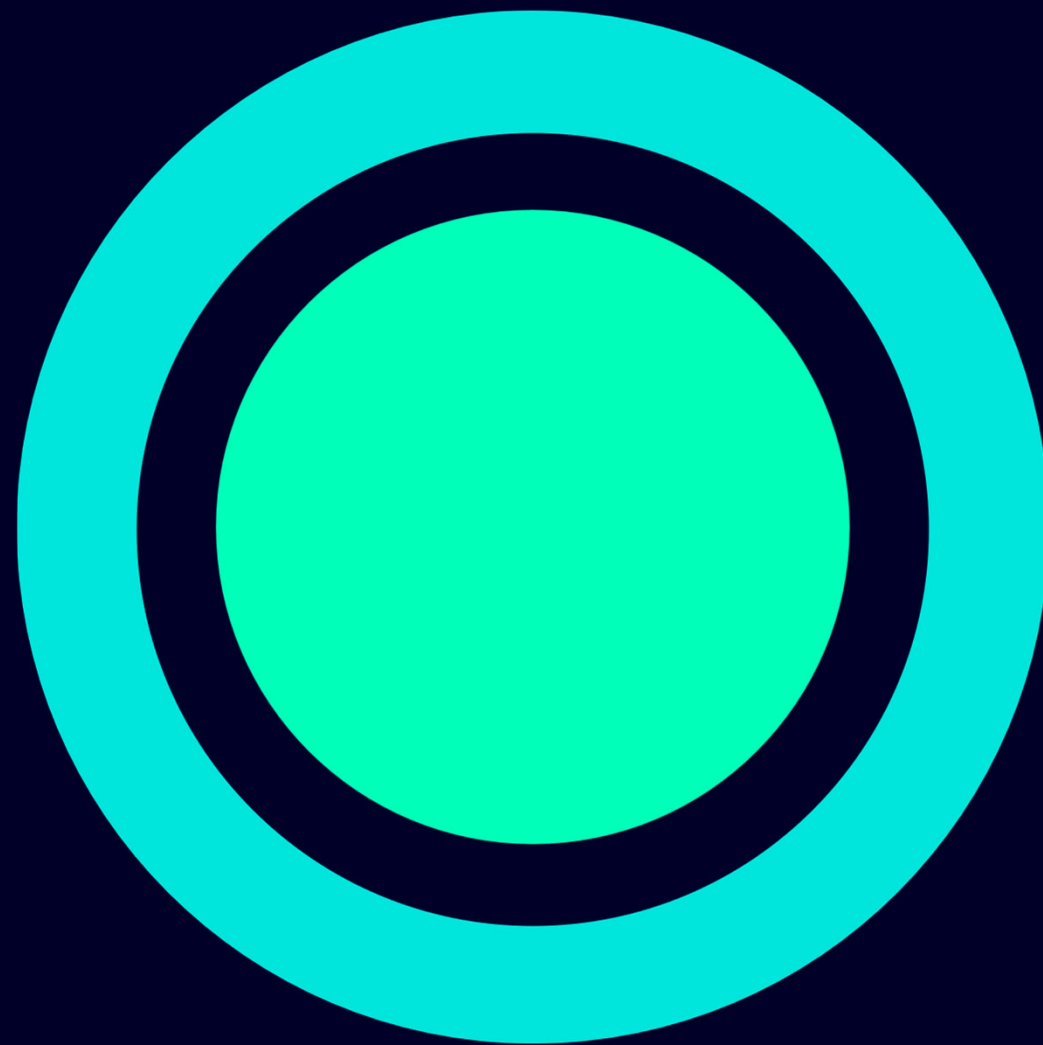


シーメンスにおける サステナビリティ

サステナビリティへの
インパクトをより大きなものに





シーメンスの目的
人々の毎日を変える
テクノロジーの創造



未来を形成する5つのメガトレンド

人口動態の変化

- 高齢化社会が医療制度に及ぼす影響
- 特に成熟市場におけるGDP成長の牽引役としての生産性向上
- 労働開発と移住に影響を与える地域間の不均質な人口増加

都市化

- 特に発展途上地域における都市化
- 建物やインフラへの投資の増加
- 都市交通・物流需要の増加

グローバリゼーション

- グローバリゼーションからグローカリゼーションへ
- EU27カ国とUSMCAからRCEPとインドへの重心のシフト
- レジリエンス向上への要求

環境変化

- 気候変動
- 生物多様性の減少
- 汚染問題
- 材料抽出の増加と循環型経済

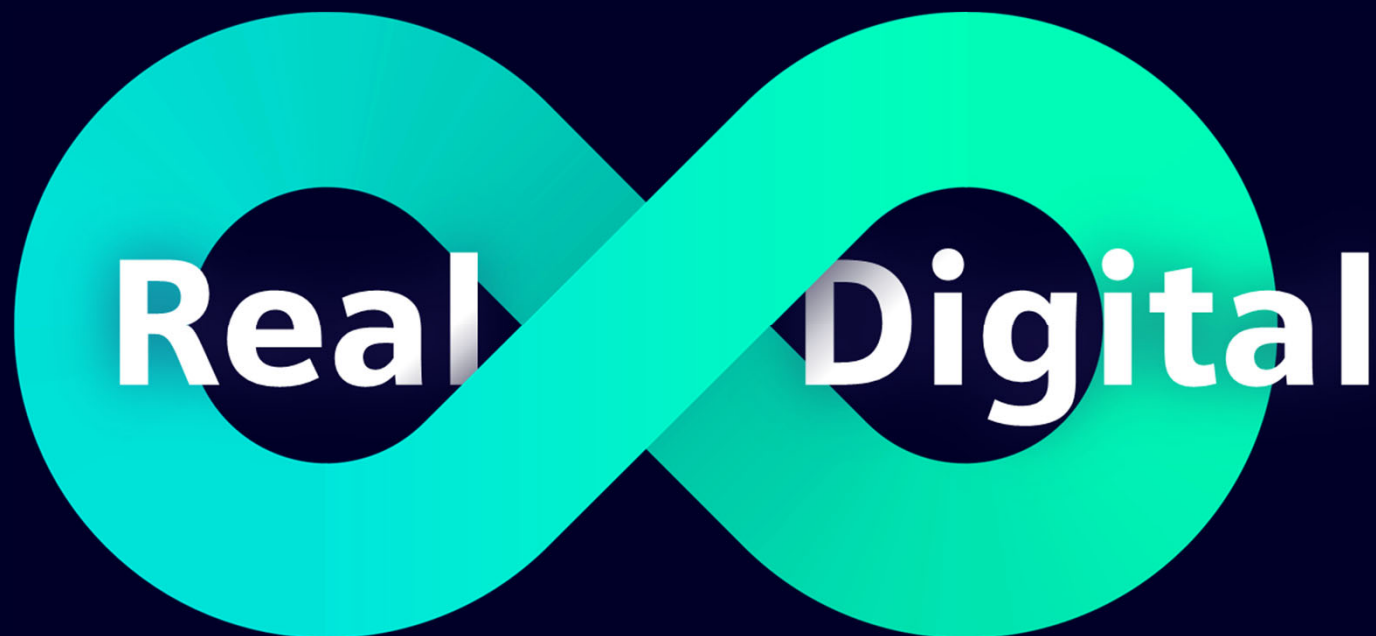
デジタル化

- デジタル価値の創造
- コネクティビティとIoT
- オートメーション
- 人工知能
- 産業用メタバース
- サイバーセキュリティ

USMCA: United States, Mexico, Canada; RCEP: Regional Comprehensive Economic Partnership

技術で サステナビリティ を推進

シーメンスは現実世界とデジタル世界をつなぐことにより、お客様がより少ない資源でより多くのことを成し遂げることを可能にします



お客様の サステナビリティによる変革 を加速させる



テクノロジーは、人類がより持続可能な未来を築くために持つ最も強力なツールです。

現実世界とデジタル世界を組み合わせ、AIなどのテクノロジーの変革力を活用することで、お客様や社会がサステナビリティへの道を加速させると同時に、私たち自身の環境フットプリントも削減できるよう支援しています。

Dr. ローランド・ブッシュ

シーメンスAG代表取締役社長兼CEO

シーメンスはONE Tech Companyとして、更なる価値を創造します

お客様 に向けて

私たちは、お客様のさらなる競争力強化、回復力向上、持続可能性の実現をサポートします。

株主様 に向けて

私たちは、長期的な成長価値を創出するための基礎を固めています。

社会 に向けて

私たちは、「全ての人の日常を変革する技術の創造」の目標を更に高めます。

リアルとバーチャルの融合によって

> 90%

のシーメンスの事業が、
お客様のサステナビリティに貢献しています。
この効果は3つの分野に深くかかわっています。

*この計算は売上高に基づく。
SF6ガスを含む製品や、石油・ガス、石炭採掘、石炭火力発電などの分野との取引に関連する10%未満の事業は除外。

脱炭素
& エネルギー効率性

資源効率性
& 循環性

人間中心のアプローチ
& 社会的インパクト

SIEMENS

サステナビリティの影響を拡大する3つの主要分野

インパクト領域

お客様、地球、社会への貢献

自社の事業、製品、人材に対する取り組み

脱炭素 & エネルギー効率性

専用のソフトウェアとハードウェアを通じて、再生可能エネルギーの統合、エネルギー効率の向上、電化を促進することにより、製品、事業運営、サプライチェーンの脱炭素化を推進しています。

低炭素でエネルギー効率の高い製品を設計し、自社のポートフォリオを活用した最適化された設備で製造することにより、事業運営とサプライチェーンにおける排出量を削減しています。

資源効率性 & 循環性

産業界にテクノロジーを提供し、資産のライフサイクルを延長しながらパフォーマンス、可用性、活用度を高めることで、資源効率を向上させ循環型経済を促進しています。

循環型を考慮した設計、資源利用の最適化、廃棄物の削減、さらに水資源と生物多様性の保全によって、環境負荷を低減しサプライチェーンの安定化を図っています。

人間中心のアプローチ & 社会的インパクト

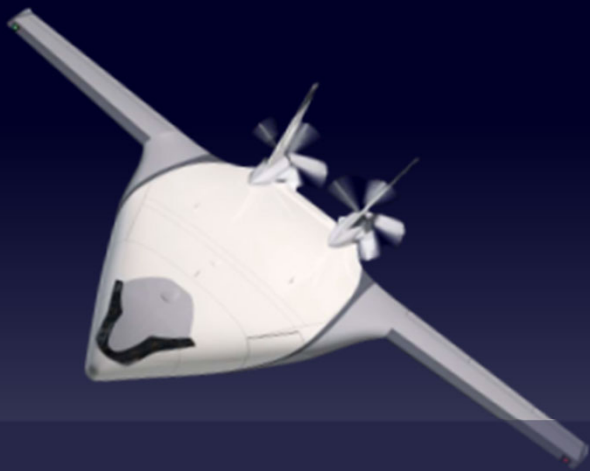
インフラと産業へのアクセスを変革・提供し、地域社会と連携し、私たちのエコシステム内の人々が成長し、競争し、繁栄できるようにすることで、社会の発展を推進しています。

社員が生涯にわたるスキルを構築できるよう支援し、多様なチーム、インクルーシブな職場環境、働く上での幸福を促進することで、常に変化する環境の中で、社員と事業の強靱性と適応力を確保しています。

シーメンスは全てのビジネスで、サステナビリティの価値を提案します

	 脱炭素 & エネルギー効率性	 資源効率性 & 循環性	 人間中心のアプローチ & 社会的インパクト
Digital Industries (DI) 製造業	エネルギーの最適化 カーボンフットプリント管理 ライフサイクルとサプライチェーン	資源と材料の最適利用 市場投入までの時間の短縮 生産性の向上	製造における人間工学と安全性 ワークフローの最適化 製品の安全性
Smart Infrastructure (SI) ビル	建物のエネルギー効率 サステナビリティ・アセスメント ソリューションとサービス	資産の性能の最適化 可用性、寿命の管理 ビル空間利用率の最適化	健全な室内環境 火災安全
Smart Infrastructure (SI) 電化	再生可能エネルギーの統合 リアルとデジタルの電化 eモビリティ	資産の性能の最適化 可用性、寿命の管理 電気資産の保護	信頼性と回復力のある電力網 電気の安全性
Mobility モビリティ	効率的な公共輸送 (高速鉄道、バッテリー 水素鉄道)	修理可能性 再利用性 改修によるライフサイクルの延長	データ主導型サービス システムの容量の向上 可用性、信頼性の向上
Financial Service ファイナンス	新しいクリーン技術、新しいビジネスモデル、サステナブルなイノベーションへの融資		

リファレンス : Digital Industries



脱炭素 & エネルギー効率性



Natilus

リアルタイムで、拡張性のあるデジタルツインにより持続可能な航空業界を構築

- フライトあたりの貨物容量が1.5倍に増加し、従来の航空機と比較して燃料消費量が50%削減
- 持続可能な航空燃料と将来の水素推進に対応
- デジタルツインソフトウェアにより、市場投入までの時間を50%短縮
- 没入型エンジニアリングにより、チームのコラボレーションと顧客エンゲージメントが向上



資源効率性 & 循環性



HERU Technologies

自動化技術によって、熱分解のエネルギーを使用してハイブリッドエネルギーリソースユニットを最適化

- 1回の運用に必要なエネルギーで、2倍量の生産を実現
- 水を加熱するためのエネルギー生成プロセスにおいて、CO₂の排出とコストの削減を達成
- 焼却、もしくは、埋立地に配送予定の製品からエネルギーを生成



人間中心のアプローチ & 社会的インパクト



Blendhub

自動化技術とデジタルツインにより、食品原料の配合・生産の工場を最適化

- 収穫した作物の加工を現地で行うことで、発展途上のコミュニティにおいて、十分な食品を提供でき、地域経済支援もできる
- プラグ・アンド・プレイ工場の導入によって、立上げ期間を数年から6か月に短縮
- ポータブル工場の設立により、地元の中小企業と起業家のコラボレーションが強化

リファレンス : Smart Infrastructure



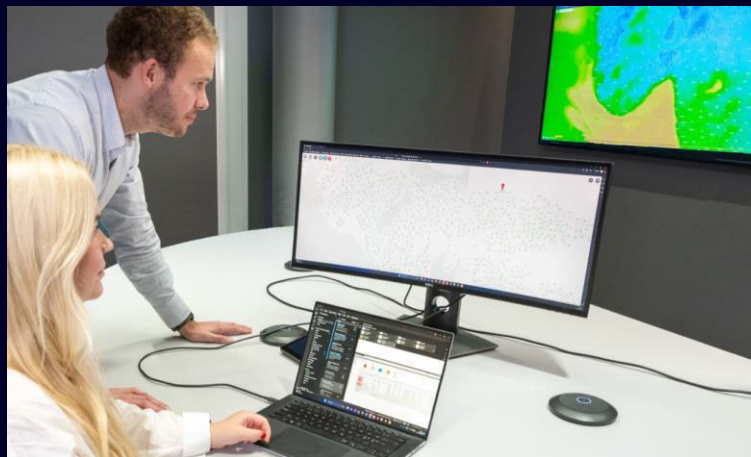
脱炭素 & エネルギー効率性



HEINEKEN

2030年までに全拠点で、スコープ1、2の炭素排出量のネットゼロの達成を支援するための、マルチフェーズ脱炭素プロジェクト

- デジタルツインで設計されたスケーラブルなソリューションにより、生産ならびに包装工程における加熱、冷却要件を最適化
- 2025年までに、CO₂を50%削減し、各拠点で15-20%のエネルギー削減見込み
- 継続的なプロジェクト最適化に向けて、5年間のモニタリングサービス契約を締結



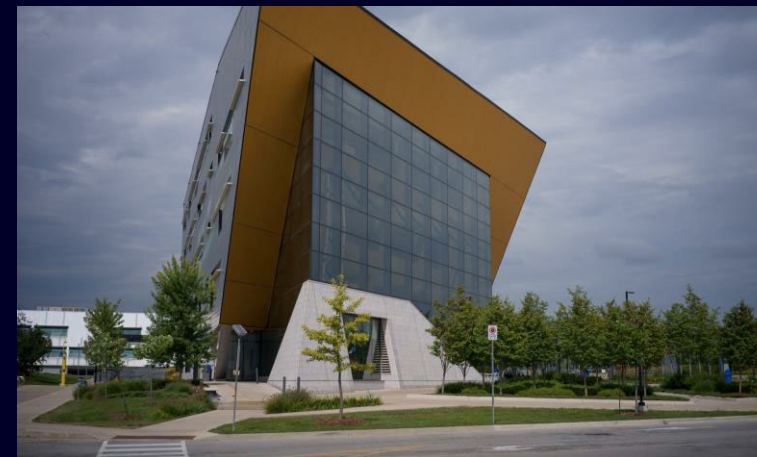
資源効率性 & 循環性



Elvia

SaaSソリューションによって、グリッド要領20%向上に向けた目標を支援

- LV Insights® Xにより、低減圧グリッドの工程を自動化し、複雑なオペレーションを処理
- ノルウェーにおいて、将来を見据えた配電網管理を実現し、自律型グリッドへの第一歩を踏み出す



人間中心のアプローチ & 社会的インパクト



Humber College

カナダにおいて高等教育を推進し、キャンパスにおける壮大な脱炭素計画を支援するための、長期的な戦略連携

- 温室効果ガス排出量を30%削減
- 全体的なエネルギー使用量を15%削減
- マイクログリッドから得られるリアルタイムデータの約30%を活用し、学生が実践的な体験学習を行えるスマートラボ施設

リファレンス : Mobility



脱炭素 & エネルギー効率性



Deutsche Bahn向け ICE4車両

都市間輸送の新しいスタンダード

- 軽量化と空力性能の向上により、以前のモデルよりもエネルギー消費を30%削減
- 20,000両の車両の置換えによって、各列車の寿命を基準とした場合、400,000トンの二酸化炭素を節約
- 柔軟な電動車両技術を備えたモジュラー設計で、複数の都市間のニーズに適応し、冗長化されたシステムの中でも高い信頼性を確保



資源効率性 & 循環性



S-Bane Copenhagen

交通網の完全な自動化により、容量が40%増加

- CBTCシステムによりネットワーク効率が向上し、スムーズな交通が整備されることで、遅延が削減
- 列車の運行を詳細に制御することで、エネルギー消費を最小限に抑制し、資源の効率を向上
- 最新化されたS-Baneシステムにより、持続可能な都市の成長を支援



人間中心のアプローチ & 社会的インパクト



Brightline Florida

在庫、予約システムが鉄道への移行を推進

- 運用の拡張性を高めることで、新しい目的地へのサービス拡張を支援し、手作業による追跡作業を抹消し、より多くの乗客の高地域的な管理を実現
- S3 Passengerシステムにより、アクセシビリティが高く、乗客が使いやすい予約システムを提供する
- ホスピタリティに焦点を当てたサービスにの提供により、旅行のカスタマイズが可能に

リファレンス : Financial Service



脱炭素 & エネルギー効率性



Stegra

スウェーデンにおける世界初の大規模なグリーン製鉄所への投資

- 排出量削減が困難と呼ばれる製鉄業界（世界の二酸化炭素排出量の~7%を占める）における脱炭素化プロジェクト
- グリーン水素、グリーン鉄の生産を統合したグリーン製鉄所で、~65億ユーロの総資金を確保
- 従来の鉄鋼制裁における二酸化炭素排出量から比較して、95%減



資源効率性 & 循環性



PlantSwitch

米国における生分解性プラスチック樹脂の生産資金を融資

- 生分解性プラスチック樹脂によるプラスチック生産（非生分解性プラスチックのリサイクル率は10%未満）
- 年間最大50nmポンドのバイオプラスチックペレット生産能力
- 既存マシンとの互換性により、スイッチングコストが相殺



人間中心のアプローチ & 社会的インパクト



Velindre Cancer Center

英国における最先端がん治療センターへの融資

- がん治療を受けることができる患者数を170万人以上に増加させる必要がある
- がん患者ケアにおける国内外の教育、研究、イノベーションにおけるリーダーシップを持つ
- 低酸素排出と再生可能エネルギーシステムによる、サステナビリティに対する高い意欲

シーメンス製品の利用によってお客様の炭素削減量が、シーメンスの事業活動で発生する炭素排出量を上回ることが証明されました

スコープ1, 2, 3で発生する炭素排出量¹

121Mt CO₂e

(スコープ1,2の排出量 : 0.4 Mt CO₂e)



シーメンス製品利用による
お客様の炭素削減量^{2,3}

144Mt CO₂e

科学的根拠に基づき、ネットゼロ目標による
フットプリントの削減を実施する

- 2019年度を基準年度として、2030年度までに
スコープ1および2で-90%、スコープ3で-30%を達成する

DEGREE 目標 2030

- 2050年度までにバリューチェーン全体で炭素排出量
ネットゼロを目指す

DEGREE 目標 2030

お客様のポートフォリオを通じて
回避した炭素削減の具体的な方法

- エネルギー効率
- 電化
- 再生可能エネルギー

1) 1,121 Mt CO₂e はシーメンスのスコープ 1、2、3 の排出量を表す。スコープ 3 における排出量はInnomoticsによる数値は除外。

2) Innomoticsを除いたシーメンス製品の2024年10月1日までの販売分より計算。

3) 顧客のCO₂eインパクト (削減もしくは回避された廃棄量) を参照ソリューションで比較して計算。レポートの報告年に販売された製品の稼働フェーズを対象。

脱炭素化に貢献するポートフォリオが、お客様の炭素排出の抑制を可能にします

FY24¹⁾に販売された
シーメンスの製品によって
回避された炭素排出量

144 Mt

顧客のCO₂eインパクト（削減もしくは回避された排出量）を参照ソリューションで比較して計算。

事業別の炭素排出量削減効果

エネルギー効率

Digital Industriesは、エネルギー効率の高いドライブコンポーネントを提供することで、生産システム全体で最大60%のエネルギー節約を可能にしました



電化とエネルギー効率

Siemens Mobilityは、FY24に納入された電気機関車の寿命を通じて、~18.5メガトンの顧客回避排出量を実現しました



再生可能エネルギー

Smart Infrastructure、Digital Industries、Smart Financial Serviceは、お客様の排出量~8MtCO₂eを削減達成し、世界中の再生可能エネルギーの追加発電の実現、拡大、使用を支援しました



算出方法

- シーメンスの温室効果ガスプロトコルのスコープ3に準拠した独自の報告手法：
報告対象年度に販売された製品の使用段階全体における排出削減量を算定。製品レベルおよびシステムレベルの両面での脱炭素化効果を考慮。
- 2024年度における排出削減量の算定方法の更新：
時間の経過に伴う電力網の脱炭素化を考慮した動的な排出係数を採用。
- 顧客の排出回避量を3つの観点から捉えるために方法論を拡張：
エネルギー効率化、電化、再生可能エネルギーの増加
- 主な貢献要因の具体例：
インバーター（周波数変換装置）、ビルディングシステム、鉄道旅客輸送、貨物輸送、電化関連製品、オートメーション関連製品

1) Innomoticsを除いたシーメンス製品の2024年10月1日までの販売分より計算。

Siemens Xceleratorによる サステナビリティの実現

サステナビリティの 可能性を開拓する 包括的なデジタルツイン

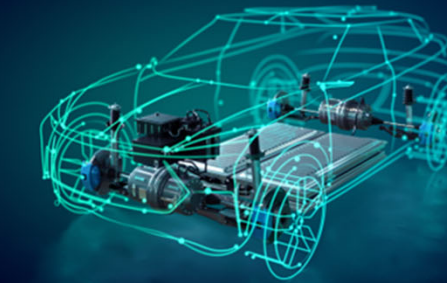
デジタルツインは物理的な物体を仮想的に表現したもので、現実世界の物体をデジタルの世界に統合する方法を提供する。

シーメンスは、設計から製造、運用、サービス、メンテナンスに至るまで、資産のライフサイクル全体をカバーする包括的なデジタルツインを保有している。

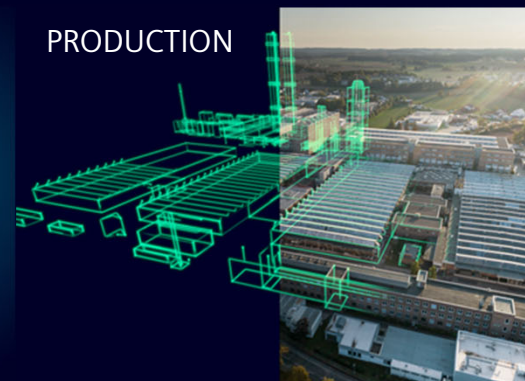
電車、機械、航空機などの製品や、ビル、化学プラント、電力網など、多岐分野にわたって複雑なシステムのデジタルツインを構築している。

Digital Industries

PRODUCT



PRODUCTION



Smart Infrastructure

BUILDINGS

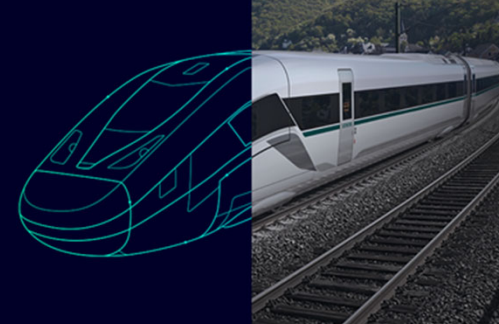


GRIDS

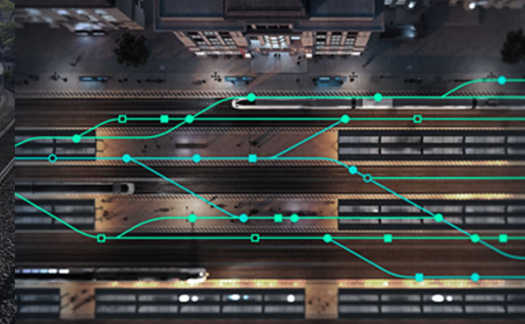


Mobility

ROLLING STOCK



RAIL INFRASTRUCTURE



デジタルツイン ：バリューチェーン全体のサステナビリティの課題解決を実現する

デジタルツインによる課題解決例



エネルギーのデジタルツインによる工場全体のパフォーマンス向上

- エネルギー効率を改善して、CO2およびkWhの最大50-60%の節約を可能にする
- エネルギーシステムの性能を分析し、実用的で透明性のある情報を提供。これにより最大50%のデータ取得工数を削減
- 脱炭素化と省エネの可能性をシミュレーション評価することで、監査コストを最大50%削減



AIベースの予知保全により、製造資産の寿命を延ばし無駄を削減

- スペアパーツの消費、在庫レベル、リードタイムを最適化
- ダウンタイム予測精度を最大85%改善し、計画外の機械のダウンタイムを最大50%削減
- 保全従業員の生産性を最大50%向上させ、メンテナンスの計画を最適化



開発初期段階から電子部品のカーボンフットプリントへの影響を管理

- リスク、コスト、要件を考慮しながら、材料の選定から製品が寿命を迎えるまで、部品表の炭素排出量を分析
- 実用的な洞察を取得することで、排出目標と規制要件を満たすトレードオフの決定を下す
- 3億を超えるの部品のCO₂e値を取得し、電子部品の最大5倍の速さでカーボンフットプリントを検証

Xcelerator

：デジタルとサステナビリティの変革を大規模かつ迅速に実現する

Our open digital business platform



テクノロジーと
エコシステムを通じて
サステナビリティの影響
を拡大する

Portfolio

シーメンスと認定パートナーによる、
IoT対応のハードウェア、ソフトウェア、
デジタルサービスの厳選された
モジュール型ポートフォリオ

Ecosystem

企業、スタートアップ、開発者から
構成され、成長を続ける
多様なエコシステム

Marketplace

デジタル製品をシンプルかつ
シームレスに探索、評価、交換できる
進化するマーケットプレイス



Xcelerator Marketplace

: 多様で豊富な製品が、お客様の持つ固有の課題解決に貢献する

持続可能な生産能力の強化



Industrial Operations Xは、産業生産向けのオープンで相互運用可能なポートフォリオであり、ITとソフトウェアの機能を活用して自動化技術を強化し、リソース消費を削減することで、継続的に成長しています。

運送の最適化



Mobility Software Suite Xは、プロセスの最適化と乗客の快適性の最大化を目指すインターモーダル事業者向けのソフトウェア製品のエコシステムを提供します。

鉄道メンテナンス効率の向上



Railigent Xは、鉄道資産データをインテリジェントに活用して付加価値を生み出すオープンアプリケーションスイートです。

Siemens
Xcelerator



各ポートフォリオ
による効果

ネットゼロのための建物の最適化



Building Xは、建物の運用をデジタル化、管理、最適化することで、データに基づいた意思決定を可能にし、持続可能性を向上させるデジタルビルディングプラットフォームです。

エネルギー効率の改善



Electrification Xは、現実世界とデジタル世界をスケーラブルなIoT SaaSサービスに統合し、エネルギーネットワーク全体の管理、稼働率の向上、信頼性、資産活用、エネルギー効率、持続可能性、サイバーセキュリティの向上を支援します。

よりクリーンなグリッドへの強化



GridScale Xは、電力会社がエネルギー転換に関連する最も差し迫った課題に取り組むためのモジュール式ソフトウェアを提供します。

サステナビリティ活動による 循環の促進

循環型社会へのアプローチによりサステナビリティに貢献することを掲げています



循環型製品の製造

シーメンスは、持続可能な材料、最適な使用、そして価値の回収を目指して設計しています。二次材料の使用を最適化し、サプライチェーンの強靭性を高めています。生産効率の向上に対するシーメンスの取り組みは、資源消費の最小化に貢献します。

Siemens EcoTech 製品
価値の回収・循環、最適利用、持続可能な材料において優れた性能を発揮し、循環型経済の促進に貢献します。

リサイクル材料の活用
資源を節約し、排出量を削減します。例えば、スクラップやアーク炉、グリーン電力を用いたグリーンスチールの生産では、製造過程におけるCO2換算排出量を最大70%削減します。

循環型ビジネスの推進

シーメンスは、製品やコンポーネントの再利用、そして製品寿命を延ばすサービスを通じて、価値の向上と維持を目指しています。資源の再利用サイクルを確立することで、効果的に価値を回収します。

持続可能なライフサイクルサービス
効率性と稼働率の最大化、寿命延長、修理サービスと再販のためのマーケットプレイスを通じて、鉄道資産の全ライフサイクルにわたる循環性を実現します。

スイッチギアの改修
新規設置と比べて、運用寿命を最大15年延長し、CO2換算排出量を最大75%削減、材料使用量を最大80%削減します。

お客様の循環化を支援

シーメンスのソフトウェアポートフォリオにより、循環型製品の創造を可能にします。お客様の最適な事業運営のために、資源効率の高いソリューションを提供し、革新的なビジネスモデル、契約、パートナーシップを通じて価値を創出します。

デジタルプロダクトパスポート
バッテリーから開始し、製品ライフサイクルの透明性向上とバリューチェーン全体での材料の再利用を促進します。

予知保全
資源の最大活用、廃棄物・エネルギー使用量の削減、そして製品寿命の延長を実現します。



Siemens EcoTechは、お客様によるサステナブルな製品情報の取得を支援します

Siemens EcoTech

産業・インフラの持続可能な変革を実現するため、製品の環境性能を独自に評価・認定する制度



シーメンスの環境フレームワークの枠組みに基づいて、製品ごとに評価を実施します。
その結果をSiemens EcoTech Profileとして、製品別の具体的な指標（KPI）を用いて、環境性能を詳細に開示します。

1. 基本評価項目

- 全Siemens EcoTech製品に対して実施する必須評価を実施

2. 製品別評価項目

- 個別製品が既存基準、市場標準、または従来製品と比較した場合の相対評価を実施
- シーメンスの環境フレームワークの3分野から1つ以上の基準を満たす、という条件がクリアされているかを提示

+

環境フレームワーク

サステナブル素材

最適な利用

価値回収と循環性

低炭素材料
再生材料
材料使用の最小化
持続可能な包装
懸念物質

エネルギー効率
耐久性 / 長寿命性
保守の容易性

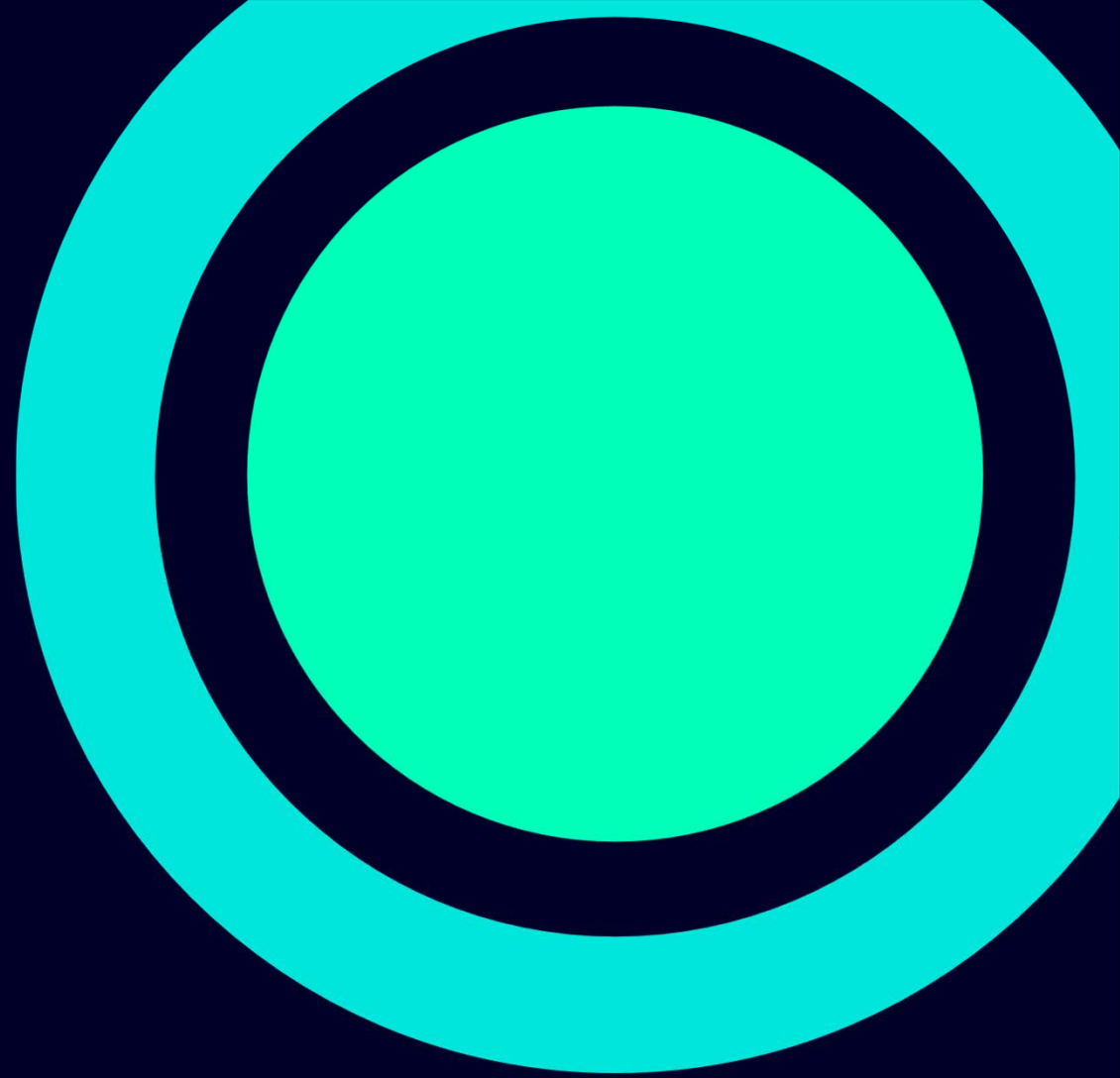
修理可能性
更新の容易性
分解の容易性
リサイクルの可能性
回収スキーム

Siemens EcoTech Profile

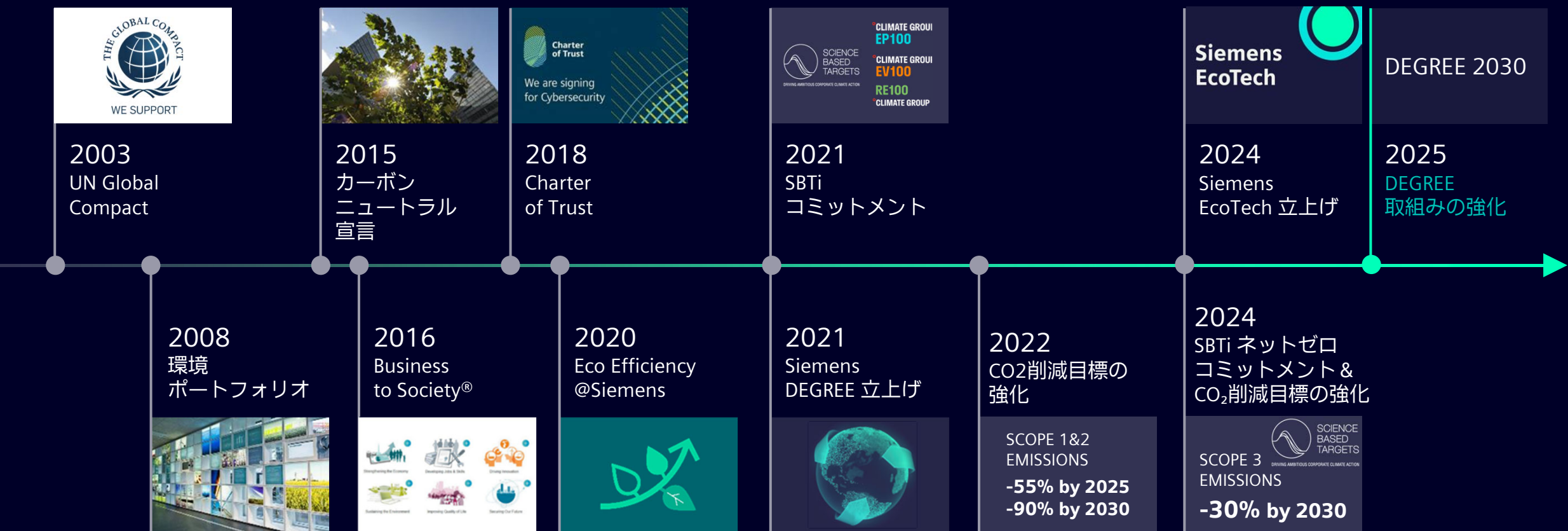


シーメンスの コミットメント & 実績

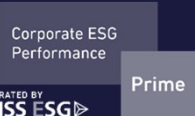
強固な基盤確立された基盤として、業界のリーダーを目指します



業界内で20年以上の、高いリーダーシップ経験があります



サステナビリティの実績で、世界的に高い評価を得ています

ecovadis	80 pts	プラチナ メダル獲得 (評価企業内の上位1%)	 CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION	A	気候変動における 高いリーダーシップ を10年間保持 (A/A-)
MSCI 	AA	10年間継続した トップクラス評価 (AAA/AA)	 Corporate ESG Performance RATED BY ISS ESG Prime	Prime	2016年以降 ESG企業評価で Primeを継続獲得
S&P Global	78 pts	Dow Jones Sustainability World Indexに20年以上 掲載 (上位10%)	 SUSTAINALYTICS	25.6 pts	Carbon - Products and Services のリスク管理にて 高評価

高評価ポイント

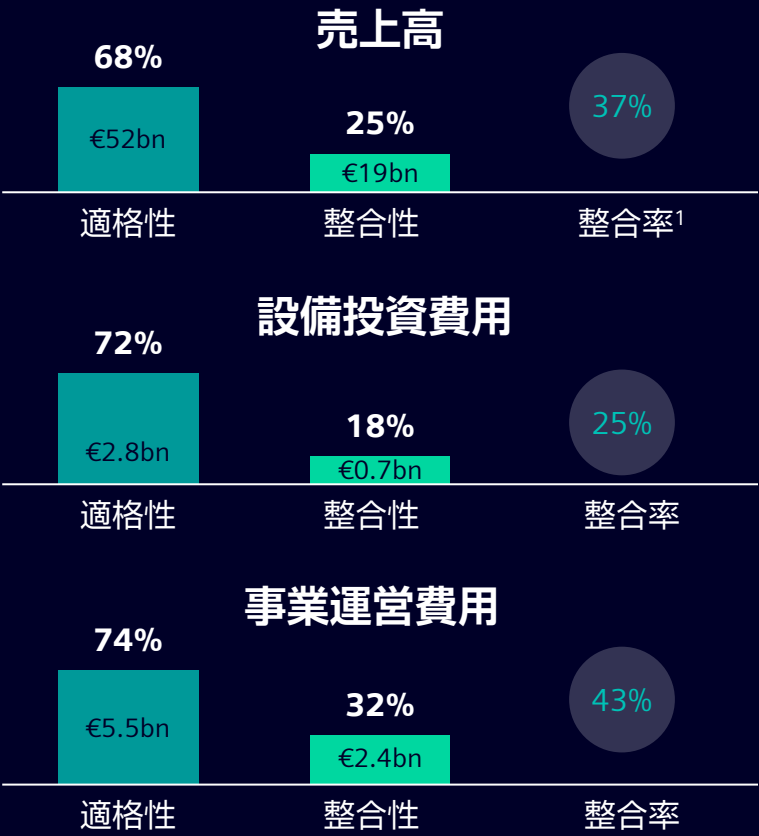
- 環境配慮型製品、サービスとエコデザイン
- コンプライアンス管理システム
- 環境管理システム
- 顧客関係管理
- サイバーセキュリティプログラム
- イノベーション管理

ポートフォリオの利用は、EUタクソノミーに準拠し、経済活動をサポートします

EUの環境目標

-  気候変動の緩和
-  気候変動への適応
-  生物多様性とエコシステムの保護・回復
-  汚染防止・管理
-  水資源と海洋資源の持続可能な利用・保護
-  循環型経済への移行

シーメンスのEUタクソノミー評価結果



シーメンスのポートフォリオは、EUの気候変動緩和と循環型経済の目標に向けた持続可能な転換を実現します

シーメンスは、EUタクソノミーの全範囲における自主評価を他社に先駆けて実施しました

低い整合性の値は、EUタクソノミーの懸念物質による規制が現行規制よりも厳しい基準であることが影響しています

シーメンスでは現在、EUタクソノミーの数値の継続的な改善に取り組んでおり、これらの数値は独立機関による監査を受けています

1) 適格と判断された活動のうち、実際にEUタクソノミー基準に整合している割合。

戦略的パートナーシップのもと、標準化と持続可能な成果の実現を約束します

環境・気候分野

- Science Based Targets initiative (科学的根拠に基づく目標イニシアチブ) : 1.5°C目標
- The Climate Group : Climate Week NYC, EV100, EP100, RE100イニシアチブ
- 国連 : 気候に関するグローバルコンパクト作業部会
- 米国エネルギー省 : Better Buildings Initiative (より良い建物イニシアチブ)
- 世界銀行 : カーボンプライシング・リーダーシップ連合
- 世界経済フォーラム : CEOクライメートリーダー、クリーンパワー、グリッド・電化、産業変革
- グローバル未来委議会 : 先進製造業・価値創造
- ビジネスと生物多様性プラットフォーム
- 欧州サーキュラープラスチック・アライアンス宣言
- ドイツ産業連盟 : サーキュラーエコノミーイニシアチブ
- 責任ある鉱物イニシアチブ

社会分野

- 国際人権章典
- 国連 : ビジネスと人権に関する指導原則
- ILO : 労働における基本的原則及び権利に関する宣言、欧州労使関係作業部会
- OECD : デューデリジェンスガイドンス (紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーン)
- G7およびILO : 仕事の未来に関する基本原則と権利、ビジョンゼロ基金
- 世界経済フォーラム : AI統制・倫理責任者、最高健康責任者、最高学習責任者
- 欧州労働安全衛生機構
- グローバルビジネスイニシアチブ (人権)
- 国際労働機関 : 労働安全衛生ネットワーク
- ドイツ労働組合総同盟
- One Young World
- Chapter of Trust

ガバナンス分野

- 国連アジェンダ2030 (17のSDGs含む)
- 国連グローバル・コンパクトの10原則
- OECD多国籍企業行動指針
- OECD贈収賄防止条約
- 持続可能な開発のための世界経済人会議





GRI (Global Reporting Initiative)に準拠した限定的保証



CDP (Carbon Disclosure Project)に準拠した報告

情報の開示
世界経済フォーラム国際ビジネス評議会 (IBC)によるステークホルダー資本主義の測定への支援



機構関連財務状況開示 (TCFD)タスクフォースの支持



サステナビリティ会計基準審議会(SASB)の基準に則った対応付け

サステナビリティを加速化するため、11個の基幹技術に研究開発投資をしています

研究開発投資額

€6.3bn

売上比~8%

新規イノベーション数

5,136

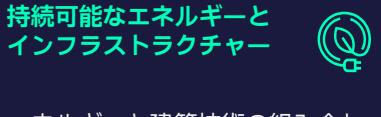
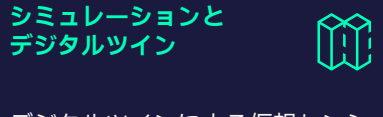
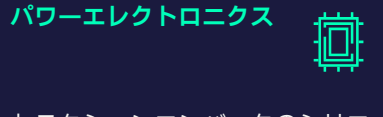
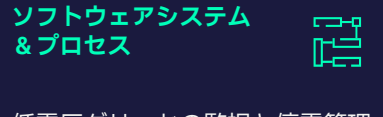
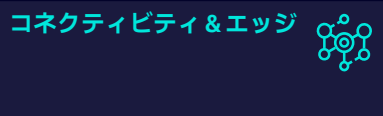
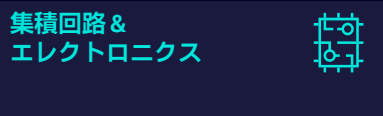
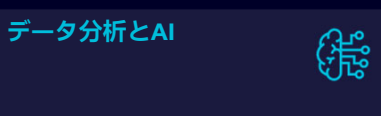
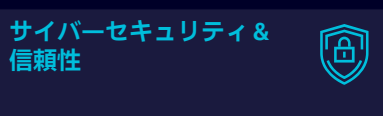
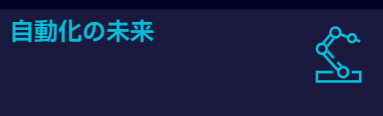
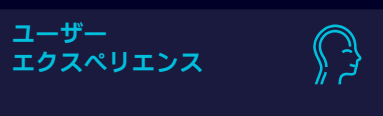
特許取得件数

41,700

SDGsに貢献している
現在有効な特許の割合

47.9%

シーメンスの11個の基幹技術の具体例

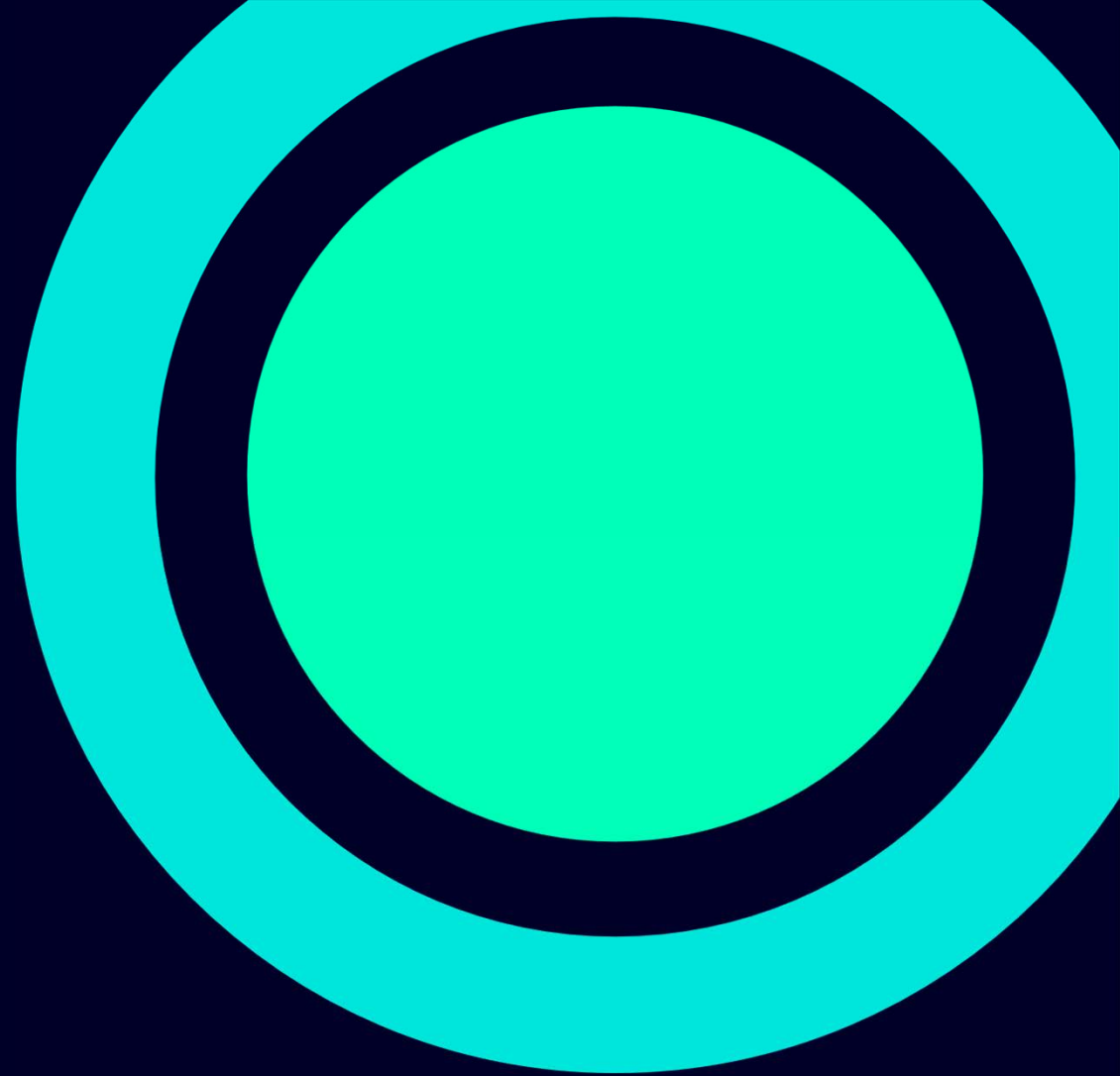
 脱炭素 & エネルギー効率性	 持続可能なエネルギーとインフラストラクチャー エネルギーと建築技術の組み合わせにより、ウィーンのゼーシュタット・アスペルンでのプロジェクトではアパートのCO₂排出量を70%削減	 シミュレーションとデジタルツイン デジタルツインによる仮想センシングを通じた産業用ドライブシステムの予知保全により、1ドライブあたりのセンサー数を30%、CO₂排出量を60kg削減	 パワーエレクトロニクス トラクションコンバータのシリコンカーバイド技術により、ライトレール車両の消費電力を最大10%削減し、騒音放出を最大10dB(A)削減	 ソフトウェアシステム & プロセス 低電圧グリッドの監視と停電管理のためのスケーラブルで適応性の高いSaaS製品によって、既存のグリッドの容量を増やし、エネルギー転換の加速を支持
 資源効率性 & 循環性	 積層造形と循環 バッテリーのリサイクルの可能性を探り、手動で開封を行う際に従業員を保護するだけでなく、バッテリー材料の循環性を可能にすることで炭素排出量を最大75%削減	 コネクティビティ & エッジ マルチセンサーデータ融合による生鮮食品の自動品質検査技術とパワフルなエッジ・コンピューティングにより、食品安全性を向上し廃棄物を削減	 集積回路 & エレクトロニクス 電子設計の物理テストをコンピュータ計算に置き換えることで、ハードウェアのサンプル数を削減し、より効率的で環境に優しい製品検証を実現	
 人間中心のアプローチ & 社会的インパクト	 データ分析とAI 生成AI搭載アシスタントがCopilotのように操作を最適化し、経験の少ない従業員のエンジニアリング業務をサポート	 サイバーセキュリティ & 信頼性 鉄道ネットワークのアナログシステムをデジタルに置き換えることで、線路脇の作業を50%削減し、安全性、定時性、輸送能力を向上	 自動化の未来 路面電車の自律運転技術では、高度なアルゴリズムにより状況を解釈・予測し、運転手の作業負担を軽減しつつ安全な運行を確保	 ユーザーエクスペリエンス 4週間以内にローコードで開発されるデジタルカスタマーエクスペリエンスから作成された、鉄道の運行計画アプリによって、乗客の安全かつ快適な移動を可能に

* Innomoticsが売却されたため、これらの数値はInnomoticsを除いた2024年10月1日でのシーメンスAGの数値を使用。

DEGREE

サステナビリティ フレームワーク

シーメンスにおけるコミットメントの実行方法に関して説明します

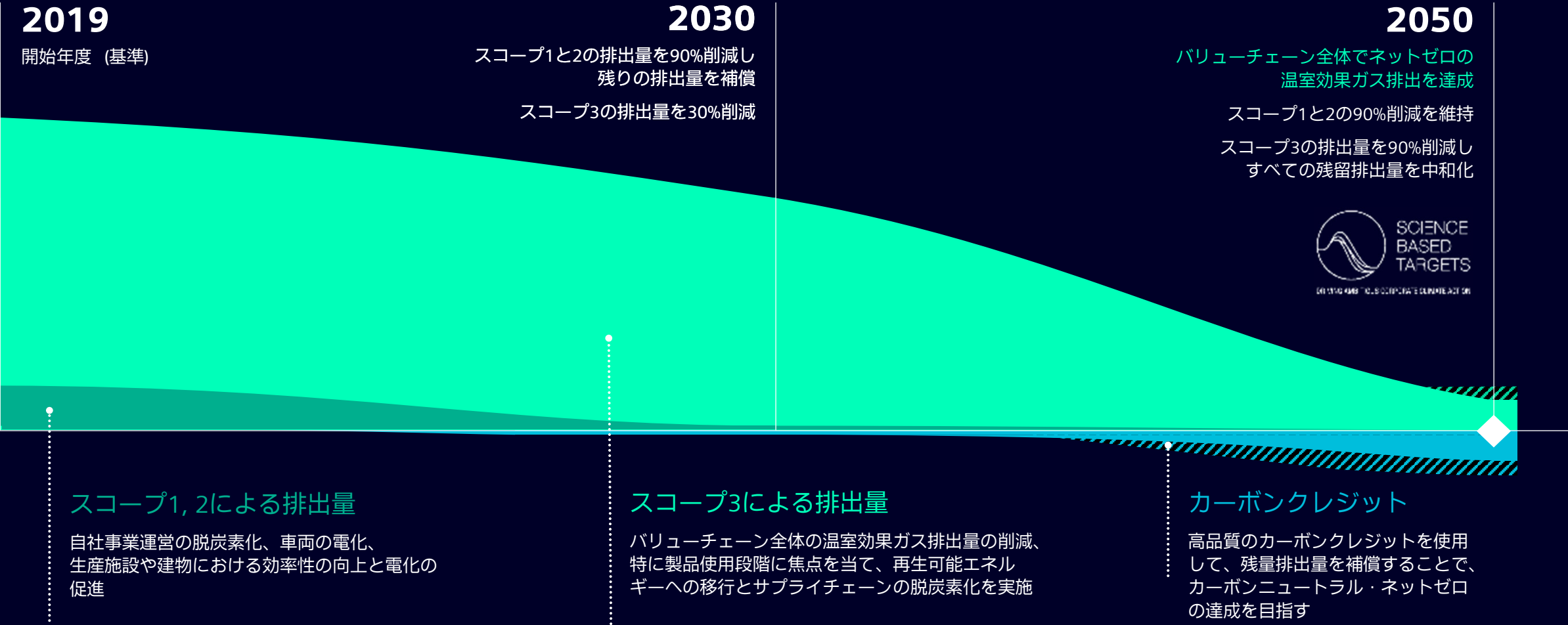


FY25から施行されている新しいDEGREEのフレームワーク

2030年の到達目標						
Decarbonization & energy efficiency	スコープ1,2 排出量90%削減、ネットゼロの実現 基準値： 691 kt CO ₂ e (FY19) 目標値： -90%	スコープ3全体 2030年までに排出量30%削減、2050 年までにネットゼロ達成 基準値： 153 Mt CO ₂ e (FY19) 目標値： -30% & ネットゼロ	お客様の排出量の削減効果 合計1000 Mt以上 基準値： 264 Mt CO ₂ e (FY23) 目標値： >1000 Mt			
Ethics & Governance	Siemens Integrity Initiative 全従業員へのトレーニングと行動計画 を実施することで汚職の防止 基準値： 0% (FY24) 目標値： 100%	サイバーセキュリティ Siemens Zero Trustを全ての関連製品に 対応 基準値： 16% (FY24) 目標値： 100%	EUタクソノミー EUタクソノミーに準拠した収益率の向 上 基準値： 46% (FY24) 目標値： 割合の増加			
Resource efficiency & circularity	エコデザイン 関連ハードウェア、ソフトウェア、 サービスにおいてエコデザインを 100%達成 基準値： 16% (FY21) 目標値： 100%	埋め立て廃棄物 循環型対応のため、埋め立て廃棄物 をなくす 基準値： 0% (FY21) 目標値： 100%	生物多様性 関連拠点において、保全プログラムの 実施率100%達成 基準値： 17.7% (FY24) 目標値： 100%			
People centricity & society Equity Employability	給与の公平性 賃金格差を是正する 基準値： 2.5% (FY24) 目標値： 格差の解消	多様性の受け入れ インクルージョンレベル80%以上の維持 基準値： 80% (FY24) 目標値： > 80%	福利厚生 職場における幸福度（ウェルビーイング）80%以上の維持 基準値： 84 (FY24) 目標値： > 80			
				総学習時間 1人当たり年間平均40時間へ増加 基準値： 34.2h (FY24) 目標値： 40h		
				外部へのトレーニング提供 関係者や一般社会の人300万人に、デ ジタル化とサステナビリティに関する トレーニングの提供 基準値： 615k (FY24) 目標値： 300万人		

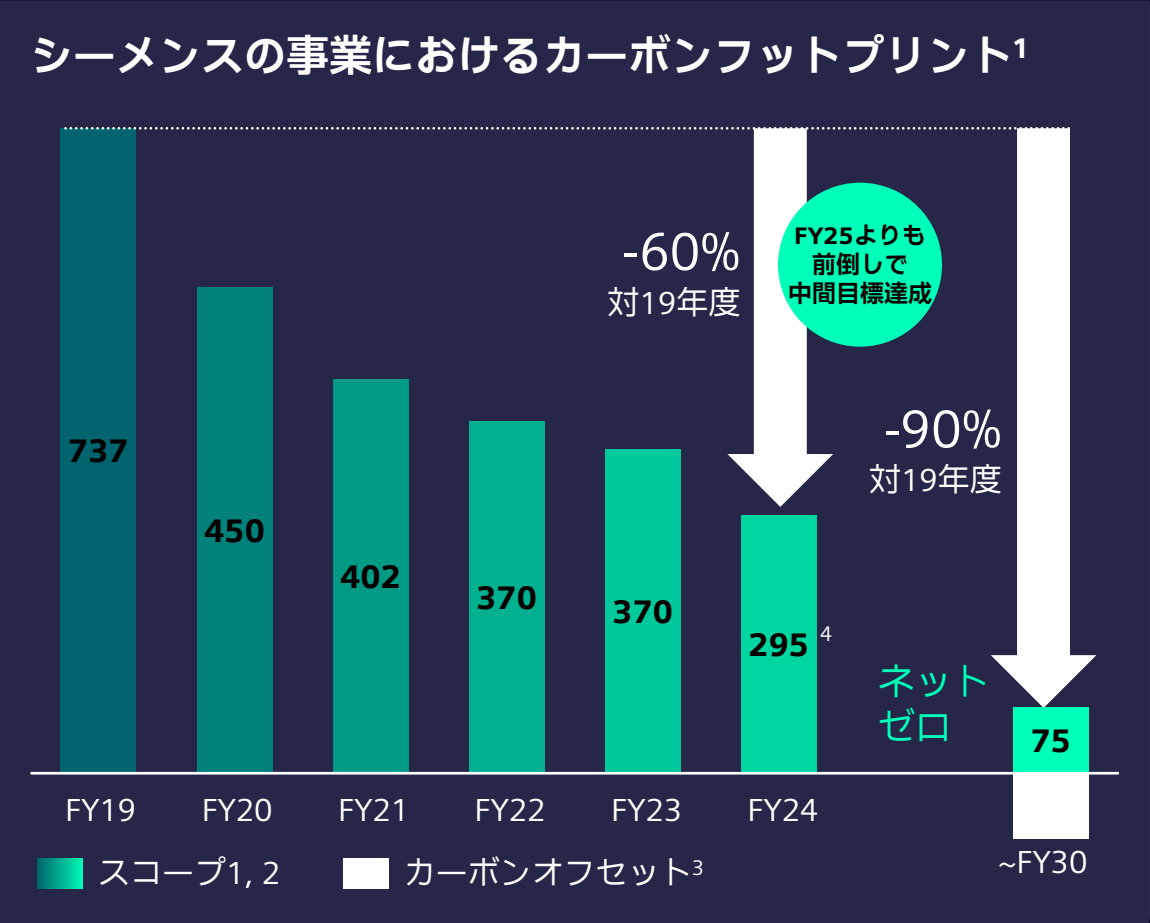
* 達成されていないDEGREEの目標のうち、現在はプログラムの一部ではなくなった項目についても、業務プロセスに組み込まれ、CSRDに基づく公開報告の一部として引き続き報告される。

ネットゼロ目標に向けて、スコープ1,2,3の排出量を削減し、脱炭素化を先導します



* 図内の面積や曲線はイメージです。

国際社会に対して、スコープ1、2の活動による排出量の削減に力を入れています



FY25の活動ハイライト (ヘルシニアを除く)

- ✓ FY25のDEGREE中間目標である「スコープ1, 2の炭素排出量55%減 (対19年度)」を予定よりも早期に達成
- ✓ FY30に向けた目標：スコープ1, 2の炭素排出量を2030年までに90%削減し、ネットゼロを実現する **DEGREE 2030 目標**
- ✓ 電気自動車使用率 21% (23年度11%からの上昇)
- ✓ 再生可能エネルギーによる電力比率 91%²
- ✓ FY22～FY30の間に、事業活動における脱炭素化のために6億5,000万ユーロを投資 (車両電化、建物、生産排出量に対して)

シーメンスの公約 (ヘルシニアを含む)

- ✓ SBTiにより検証された1.5°C目標に整合したネットゼロ目標
- ✓ 2030年までに電気自動車率、再生可能エネルギー率、ネット・ゼロ・ビルディングの全てを100%にする

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

1) シーメンスヘルシニアを除く。単位：1,000トンCO₂e。
2) RE100の新規要件のうち、既に70%は要件を満たしている (工場の年数 < 15年以下)。

3) 高品質のカーボンオフセットの場合。
4) Innomoticsを計算から除外。~277kt。

自社ポートフォリオをユーザとして活用し、自社事業の脱炭素化を進めています



Erlangen

ドイツ

デジタル化が包括的な脱炭素化を実現

- 生産能力を向上させながら25%のエネルギー消費削減を実現
- コンバーター1台の生産に必要なエネルギーを50%削減
- 換気システムのエネルギー消費を70%削減
- 工場のカーボンフットプリントを半減し、2030年までにネットゼロを達成予定
- 世界経済フォーラムにより「デジタル・ライトハウス・ファクトリー」に認定されたシーメンスの3番目の拠点
- AI、デジタルツイン、ロボティクスなどの技術を活用した産業メタバースのブループリント



Wendell

アメリカ

持続可能な成長に向けた長期的な取組みの準備

- 1.5MW AC太陽光発電アレイによる将来のオンサイトマイクログリッド
- 3.9MWh蓄電システムによるサポート（2025年秋完成予定）
- 再生可能エネルギー駆動のマイクログリッドで施設のエネルギー需要のほぼ100%を賄う予定
- 天然ガス暖房ユニットを電気ヒートポンプに置き換え
- 年間800トンのCO₂e削減効果



Monterrey

メキシコ

オール電化設備の製造拠点

- オール電化設計により、100%再生可能エネルギーによるネットゼロ・オペレーションを実現
- シーメンスSI製品およびサービスによる優れたエネルギーパフォーマンスの監視
- LEEDゴールド認証のグリーンビルディング
- 500kWの太陽光発電モジュールを搭載したソーラーカーポート
- 高度な雨水管理と水使用削減対策

サプライチェーンにおけるネットゼロを目指した取り組みを実施しています

追加目標*

2030年までにスコープ3の上流における炭素廃棄量の20%削減を目指す

フットプリントによる サプライヤーのインパクト



サプライヤー数
~67,500



製品・サービス
購入額
~350億ユーロ



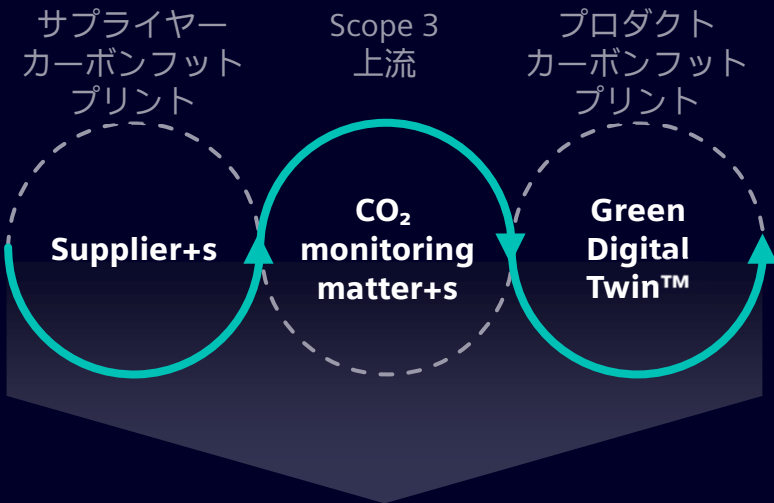
国の数
~140

スコープ3上流の状況 (FY2024) ¹

対FY20でのスコープ3上流
の炭素排出量削減率
~2%

同時期に増加した購入量
~33%

目標達成のための取り組み



~5,356

のサプライヤーが
supplier+ ツールを
利用してレポーティ
ングを実施

このツールを通じて、
平均

~9%

のカーボンフット
プリント削減を実現

1) シーメンスヘルシニアを除く。

* シーメンスの通常の事業活動となったDEGREEの目標については、今後もCSRD（企業サステナビリティ報告指令）の下で報告を継続。

倫理と誠実性を持続可能な慈善活動の基礎理念として掲げています



シーメンスは、汚職やその他の適用法およびビジネス行動指針の違反を**一切容認しません**。全ての活動において、例外なく、**倫理的、合法的、そして誠実性をもって行動すること**を約束します。

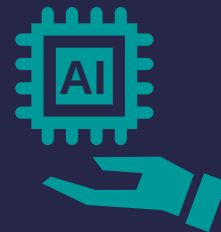


シーメンス・インテグリティ・イニシアチブは、汚職や詐欺と闘う組織やプロジェクトの支援しています。**50か国以上、85のプロジェクト**を、Collective Actionを通じて**1億2,000万米ドル**以上提供しています。



シーメンスでは、3年サイクルで全社員に**ビジネス行動ガイドライン (BCG)** の研修を実施することを目標に掲げています。今年度末までに、BCG研修「Doing the right thing! (正しいことを行う!)」は、全世界の現役従業員の97%に展開され、KPIによると91%の従業員が受講済みとなっています。¹

追加目標*



従業員、顧客、パートナー、社会、環境に対する私たちの責任には、**倫理基準を優先し、AI基盤の製品の開発と使用における責任ある事業行動を確保**することが含まれています。

1) シーメンスヘルシニアを除く。

* シーメンスの通常の事業活動となったDEGREEの目標については、今後もCSRD（企業サステナビリティ報告指令）の下で報告を継続。

倫理課題の取組みの一環として「責任あるAI」を推進しています

ビジネスプロセスと
ポートフォリオに
「責任あるAI」を統合
することで倫理的課題に
対応しています

責任あるAI の原則



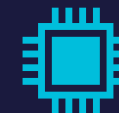
- 法的要件への対応
- 国際標準とベストプラクティスへの準拠
- シーメンスの事業行動指針に従い、シーメンスの倫理原則を遵守
- AI技術の責任ある開発と展開を導き、確保する

生成AIの 倫理的枠組み



- シーメンス生成AIガードレールを実行可能なガイドラインに落とし込む
- 生成AIのコンプライアンス、責任ある使用、セキュアな使用を確保
- シーメンスの事業行動指針に従い、シーメンスの倫理原則を遵守

Industrial Copilots



- 生成AI搭載のindustrial copilotは以下を目指す
 - 人間と機械のコラボレーションを強化
 - イノベーションを加速
- 責任あるAI原則の遵守

ビジネスの成功と顧客信頼の基盤となるサイバーレジリエンス強化のため、サイバーセキュリティとデータプライバシー保護に積極的に取り組んでいます

自社のIT&OTインフラの保護、製品、ソリューション、およびサービスの保護

DEGREE 2030 目標

関連アプリケーションの100%をシーメンスゼロトラストでカバーする。

サイバーセキュリティ・ゼロトラストは、IT、OT、製品のアクセスを検証・承認するために、高品質な、リアルタイム信号を使用する包括的アプローチである。

AIベースの脅威検出を活用して、ネットワークとシステムにおける潜在的なセキュリティ脅威としての異常を動的に検出

サイバーセキュリティにおけるオーナーシップ・カルチャーの文化の元、人材の魅了、育成、維持

データプライバシーをシーメンスのビジネス活動とプロセスにおける不可欠な要素として位置づけ

従業員、顧客、サプライヤー、および消費者のプライバシー保護を誓約する。

シーメンスのサイバーセキュリティガバナンスはISO 27001:2022認証取得済み

自社製品のサイバーセキュリティ – Siemens ProductCERT

- セキュリティ脆弱性監視チームは、シーメンス製品を構成する多数のソフトウェアとハードウェア部品の脆弱性を確認します
- シーメンスのSIESTAアプリケーションは、ライブシステムや重要なIT/OTネットワークでも、コンポーネント、製品、ソリューションのセキュリティを検証します
- SBOM (ソフトウェア部品表) チームは、製品で 사용되는すべてのコンポーネントの詳細なリストを保持し、サプライチェーンを通じて追跡します
- シーメンス製品で見つかったセキュリティ問題に関する情報は公開報告され、透明性の高い基準を追求します

バリューチェーン全体における人と環境へ影響を継続的に評価しています

サプライヤーに対する明確な要件

350億ユーロの商品とサービスを購入し
~140カ国で調達を実施 (FY24)

~67,500
サプライヤー数

6,878
企業責任自己評価の件数

430
外部サステナビリティ監査実施の件数

サプライヤー管理
における
リスクベースの
アプローチ

ESGで保護された
サプライチェーン¹

FY25よりも
前倒して
目標達成

人権尊重への取り組み

経営トップが責任のある企業活動を主導
人権担当役員が監査役会と経営委員会に直接報告
本社レベルで人権管理体制を確立

自社従業員

基本的労働条件の確保
世界各地での人権リスク
評価の実施
包括的な人権調査プロセスの導入



サプライチェーン

サプライヤー行動規範で
人権尊重を明確化
サプライヤーによる自己
評価の実施
外部機関による持続可能性
監査の実施
人権リスクの早期発見と
対策



顧客関連ビジネス

環境・社会・人権に関する
総合的な調査を実施
取引内容、現場状況、取引
先の評価
ESGレーダーを活用した
リスク管理



人権専門家、投資家、評価機関、NGOなどの外部ステークホルダーと定期的に
対話し、さらに組織の枠を超えた協働的な対話の場も設けています



GLOBAL BUSINESS INITIATIVE
ON HUMAN RIGHTS

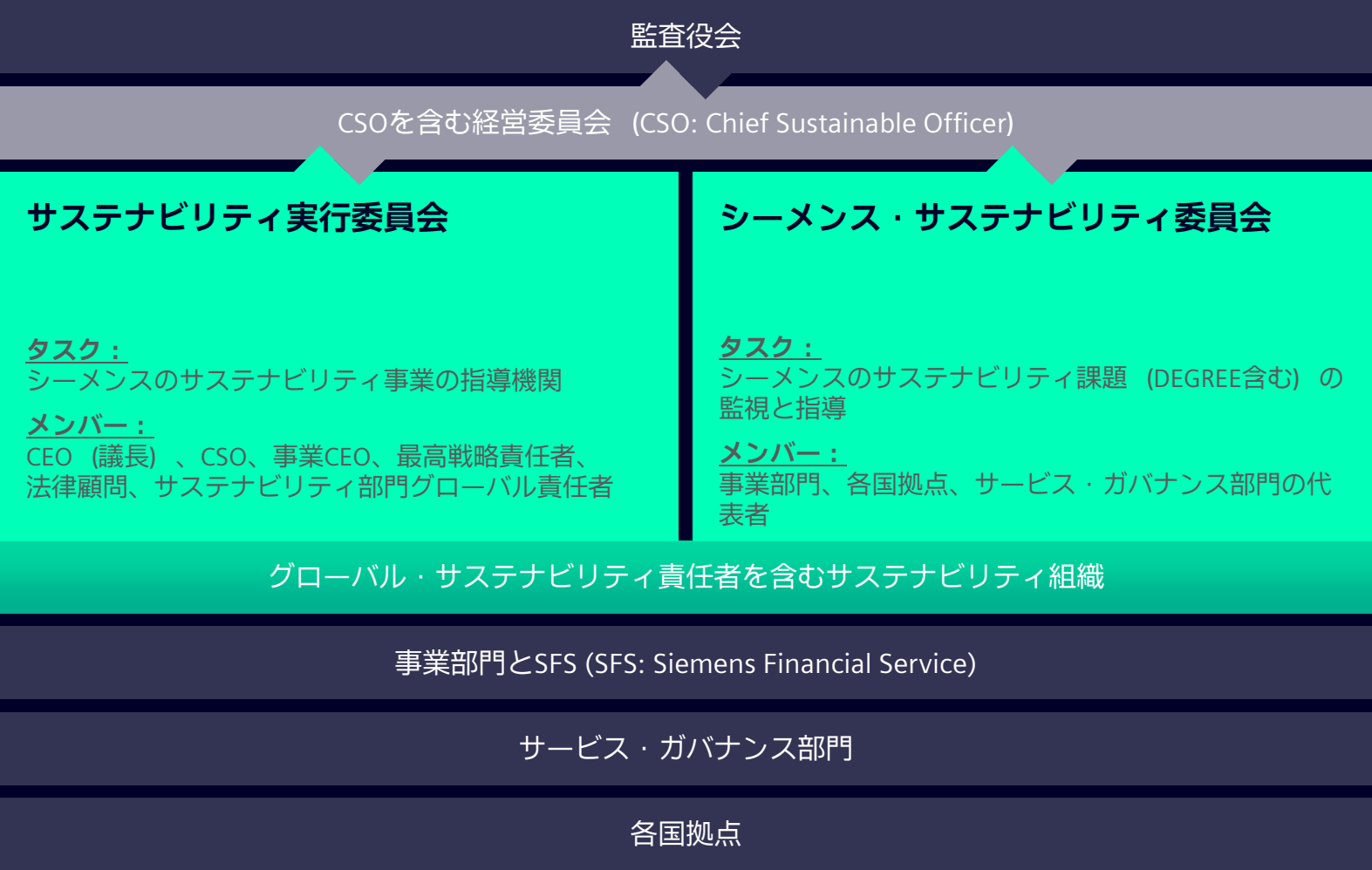


United Nations
Global Compact

econsense

1) シーメンスヘルシニアを除く。

サステナビリティ推進のための組織体制を構築しています



取締役および上級管理職の**長期報酬** (株式報酬) の20%が**ESG基準**に基づく

24年度の2つの重みづけ要素:

- CO₂排出量
- デジタル学習時間

FY25よりも前倒して目標達成

頑健なエコデザイン (Robust Eco Design) ：ソフトウェアとサービスポートフォリオに対する取り組みを加速させます

エコデザイン

DEGREE 2030 目標

主な目標

頑健なエコデザインの適用を2030年までに関連するハードウェア、ソフトウェア、サービスポートフォリオの全てに実施¹



現状

関連するハードウェア、ソフトウェア、サービスポートフォリオへの「頑健なエコデザイン」の適用率は、前年度の41%²から54%に増加¹

追加目標*

金属や樹脂の二次材料の購入増加を通じて、天然資源使用の脱却¹

製造に使用される金属の35%をリサイクル素材から調達¹

Robust Eco Design (RED) 頑健なエコデザイン

- エコデザインアプローチによって循環型経済を支援し、脱物質化を促進を目指します
- ハードウェア、ソフトウェア、サービスの各々の取組みから全体の取組みとして拡大し、提供製品の環境負荷削減の取組みを強化します
- REDはSiemens EcoTechの基盤であり、製品開発にエコデザインを体系的に統合します
- シーメンスEcoTech ProfileはREDアプローチの成果を示し、優れたポートフォリオ要素を紹介します



1) シーメンスヘルシニアを除く。
2) 調整済みポートフォリオスコープに基づいて、比較可能な形式で表示。
* シーメンスの通常の事業活動となったDEGREEの目標については、今後もCSRD（企業サステナビリティ報告指令）の下で報告を継続。

資源の保全に積極的取り組みます

廃棄物

DEGREE 2030 目標

主な目標

- 循環型対応のため、埋め立て廃棄物をなくす¹

現状

- 2024年度の総廃棄物における材料のリサイクル比率は62%
- 基準年と比較して埋立廃棄物を30%削減¹

エネルギー

DEGREE 2030 目標

- 2040年までに、自社拠点のエネルギー効率を改善^{1,2}

- **2021年比¹**で一次エネルギー・二次エネルギーの使用効率は53%向上
- 2021年比¹でエネルギー効率化の取組みの一環として16.9%のエネルギー削減を発表

水

DEGREE 2030 目標

- 自社の施設の水効率管理と顧客向けの水・廃水処理効率化ソリューションの提供

- 拠点の97%で水効率に対する戦略を導入済み
- 水効率の戦略は、EUタクソノミーにおける水資源と海洋資源の持続可能な利用と保護に関する重大な被害を与えない (DNSH) 基準への準拠を実現

生物多様性

DEGREE 2030 目標

- 関連拠点において、保全プログラムの実施率100%達成

- SBTNの原則に従い、自社事業とアップストリーム・バリューチェーンの生物多様性フットプリントを算出
- シーメンス生物多様性評価ツール (SBAT) を使用してサイト固有の影響評価を実施

1) シーメンスヘルシニアを除く。
2) エネルギー消費量と売上高を計算に使用。

多様なチームと生涯学習・成長を育み、社員の力を引き出すための政策を執ります

シーメンス従業員



多様性のあるチーム



専門教育と生涯学習・成長



主な目標

従業員持株制度の提供 – 高水準を維持し、2025年までに世界中で100%に拡大する¹

FY20: 98% FY24: 99,96%

グローバル規模で新しい働き方¹への転換する

達成

FY25よりも前倒して目標達成

2025年までにトップマネジメントの女性比率30%¹

FY20: 22,7% FY24: 32.6%

FY25よりも前倒して目標達成

2025年までに従業員1人あたり25時間のデジタル学習の実施¹

FY20: 7h FY24: 27h

DEGREE 2030 目標

主な取組み

- グローバルな価値観と企業文化
- シーメンスグループ全体で327,000人の従業員
- シーメンスAGの株主は168,000人の従業員 (各種プログラム経由)
- 新しい「P&O Strategy 2030」として、2030年以降に向けた自社の人材に関する3つの重要目標
 - 生涯スキル
 - 影響力創出のための組織化
 - 変革をリードするリーダー

- 組織全体での機会の平等を確保 (ジェンダー公平プログラム¹²)
- 帰属意識の強化と包括的な職場環境の促進、すべての人々に平等なアクセスと成功の機会を提供

- 学習と教育に4億4000万€を投資
- Dual Study研修に約6,300人の実習生、学生の参加
- 従業員向けに将来に備えて、レジリエントで適応力のある人材を支援する生涯学習・成長の幅広いポートフォリオを提供
- 個人の成長とパフォーマンスを大規模に促進するためのMyGrowthアプローチ¹
- 学習プラットフォームで約261,100人の利用者
- 世界経済フォーラムによりSkills-First Lighthouseに選定されたMy Skillsアプローチ

1) シーメンスヘルシニアを除く。

2) このプログラムは、シーメンスUSはスコープ外。

従業員の健康、安全、レジリエンス、福祉を強化します

Siemens Global Healthy and Safe @ Siemens 従業員が健康と安全において単なる対象者ではなく、変革を起こす主体となることを目指しています。

5つの基本原則に基づき、このプログラムは各拠点が従業員の健康、安全、幸福を高めるため、的確な状況把握による実践を行うように導きます。



自分自身と互いの幸福を大切にします



より良く、より安全で、より健康的に働く方法について学び、共有することに取り組みます



より健康で安全な職場作りのために当事者として発言、参加します



変化する状況に備え、適応します



健康と安全に関する多様な見解を受入れ、歓迎します

追加目標*

2025年までにシーメンスのグローバル集計LTIFR (休業災害度数率) を30%改善：
FY20比でFY24では19%の改善 (0.31から0.25に減少)

FY20: 0,31

- 19%

追加目標*

2025年までにEmployee Assistance Programs (EAP) の提供率100%：
FY24で99%達成 (FY20で82%) ¹

FY20: 82%

99%

- シーメンスは、健康安全管理において複数の賞を受賞しました
- ISSA Vision Zero Award @ World Congress Safety and Health at work
- Canada Safest Employer award for Best Environmental Management Program
- Brazil Excellence Safety and Sustainability Leadership Award

1) シーメンスヘルシニアを除く。

* シーメンスの通常の事業活動となったDEGREEの目標については、今後もCSRD (企業サステナビリティ報告指令) の下で報告を継続。

価値共創アプローチによってサステナビリティ効果を拡大しています



シーメンス従業員参加プログラム

災害救済基金

> €2.5m

Siemens Caring Handsを通じた、トルコ、シリア、モロッコ、リビアで発生した地震と洪水の被災者支援額

企業ボランティア

> 55k 時間

慈善団体への支援活動時間（各従業員に年間2日間のボランティア活動時間を付与）

Cents4Sense イニシアチブ

> €1.6m

従業員株主による株式の配当のうち、社会プロジェクトへの寄付額

Solidarity Hub

従業員に、金銭的な寄付に加えて、ボランティア活動、現物の寄付など、**個人的な関与**のためのさまざまな機会を提供するためのプラットフォームを提供

1) 複数年度にまたがるプロジェクト。
2) 教育・芸術支援および寄付（含シーメンス・ヘルシニア）

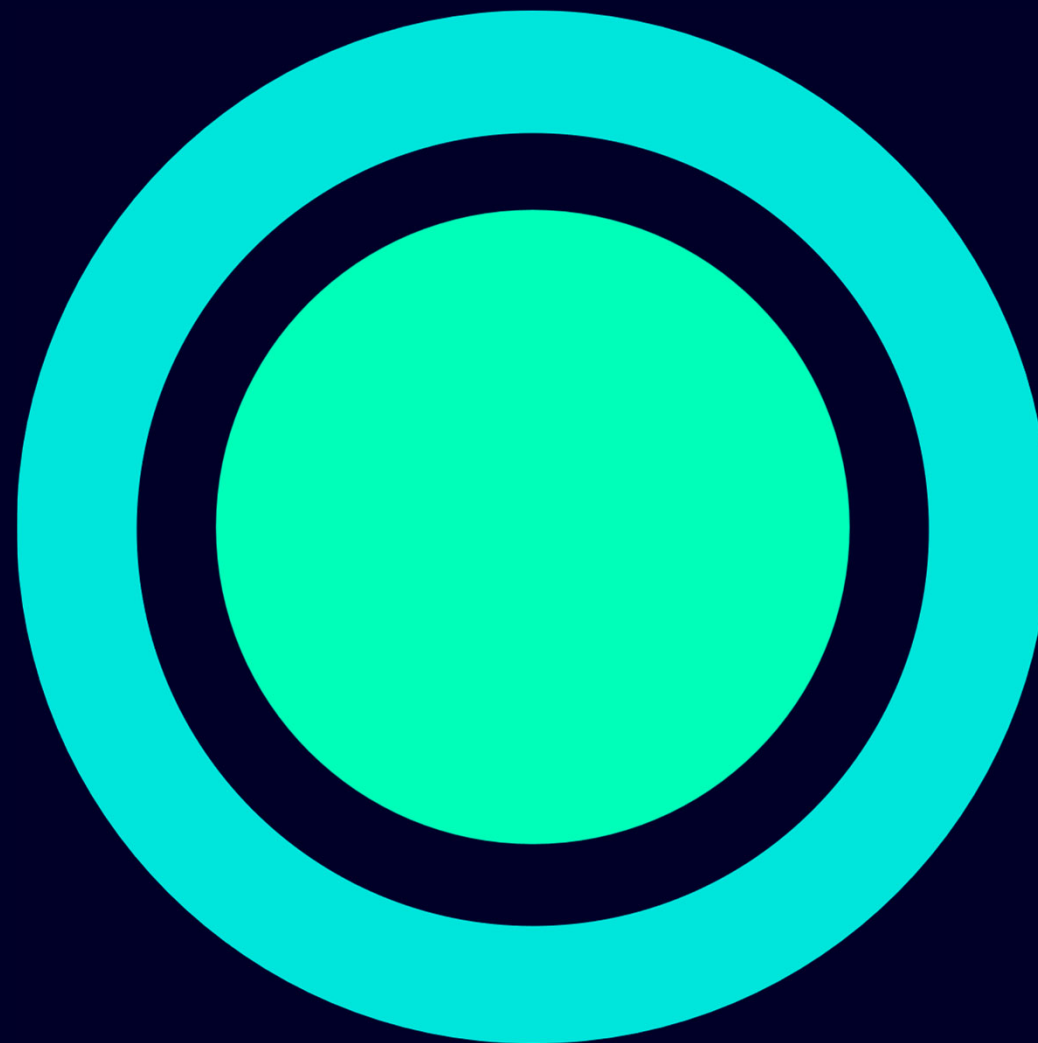
更に詳しい情報は
以下を参照ください



[Sustainability website](#)



[Sustainability report 2024](#)



Appendix

FY24におけるDEGREE実績
：FY25に目標達成としていた14項目のうち7項目を前倒しで達成しました

	DEGREE 目標	基準	FY24末時点での進捗	目標値	評価
Decarbonization	1. 2025年までに自社事業活動による排出量を55%削減	FY 19：737 kt CO ₂ e	-60%	-55% (2025)	✓
	2030年までに自社事業活動による排出量を90%削減し、残り排出量を相殺	FY 19：737 kt CO ₂ e	-60%	-90% (2030)	
	2. 2050年にサプライチェーンのネットゼロ達成。2030年までに排出量20%削減	FY 20：8,098 kt CO ₂ e	-2%	-20% (2030) -100% (2050)	
Ethics	3. 3年ごとの従業員シーメンス事業行動ガイドラインのトレーニング実施100%	FY 23開始	91%	100% (2025)	
Governance	4. Supplier Code of Conductに基づいたESG保証のサプライチェーンの達成	--	達成	--	✓
	5. ESG基準に基づく長期インセンティブ ¹	--	達成 (ESG基準を確立)	--	✓
Resource efficiency	6. 2030年までに関連ハードウェア、ソフトウェア、サービスポートフォリオに頑健なエコデザインの適応率100%の達成 ²	FY 21：16%	54%	100% (2030)	
	7. 金属、レジンの二次材料の購入増加による天然資源からの脱却 ³	--	金属：35%, レジン：1%	--	
	8. 2025年までに埋め立て廃棄物50%削減、2030年までに廃棄物ゼロの達成	FY 21：0%	-30%	-50% (2025) ~ -100% (2030)	
Equity	9. 2025年までにトップマネジメントの女性比率30%達成	FY 20：22.7%	32.6%	30% (2025)	✓
	10. 従業員持株制度への提供の維持・拡大 (2025年までに100%達成) ⁴	FY 21：98%	99.96%	~100% (2025)	✓
	11. グローバル規模で新しい働き方への転換する ⁵	--	達成	--	✓
Employability	12. 2025年までに従業員1人あたり25時間のデジタル学習の実施 ⁶	FY 20：7時間	27h	25h (2025)	✓
	13. 2025年までにEmployee Assistance Programs (EAP) の提供率100%	FY 20：82%	99%	100% (2025)	
	14. 2025年までにシーメンスのグローバル集計LTIFR (休業災害度数率) を30%改善	FY 20：0.31	-19%	-30% (2025)	

1) シーメンス内部のESG/サステナビリティ指標に基づく評価 (CO₂e削減とデジタル学習時間を基準とする)。

2) 過去の値は調整済みポートフォリオスコープに基づいて、比較可能な形式で表示。

3) 二次プラスチック使用のための製品使用は現在開発中。

4) 法的に可能かつ合理的な範囲内。

Page 49 © Siemens 2025 | Sustainability at Siemens | June 2025 | 全ての値はFY24を参照し、2024年12月時点での状況を表しています

5) 可能かつ合理的な職務プロフィールを持つ従業員に対する適用。

6) 一人当たりの平均デジタル学習時間。

7) LTIFR：労働時間損失災害度数率 (シーメンス従業員および派遣社員)。

* DEGREEサステナビリティフレームワークとその目標は、シーメンスヘルシニアを除くシーメンスに適用される。